

重要文化財 旧大和田銀行本店本館

重要文化財・旧大和田銀行本店本館は、敦賀の実業家、二代目大和田 莊七によって創業された大和田銀行の本店建物です。1927年(昭和2)に竣工し、設計は京都の吉田・永瀬建築事務所、施工は清水組(現清水建設)京都支店が請け負いました。鉄骨レンガ造一部鉄筋コンクリート造、地上3階、地下1階建の建物で、かつて敦賀の政治経済の中心地であった場所に位置しています。

大和田銀行本店として建設されたこの建物は、その後銀行の吸収合併等を経て、1977年(同52)に福井銀行から敦賀市に寄贈され、翌年には敦賀市立歴史民俗資料館としてオープンしました。

2012年(平成24)からは修復工事を実施、2015年(同27)、建設当時の姿を取り戻してリニューアルオープンしました。その後2017年(同29)には国の重要文化財(建造物)に指定され、現在に至ります。



機械遺産 国産化黎明期の乗用エレベーター

大和田銀行本店本館には当時はまだ珍しかった国産の乗用エレベーターが備え付けられていました。竣工当時のエレベーターは機械遺産に認定されており、現在は3階で展示しています。



INFORMATION

◆開館時間

9:00～17:00 (受付は16:30まで)

◆入館料

一般 300円(団体250円) 高校生以下無料
※隣接するみなとつるが山車会館との共通券500円

◆レファレンスルーム

地下1階にございます。ご利用の際は受付にお申し出ください。

◆地下室・3階講堂の貸出

コンサート等で利用できる講堂と、ワークショップ等でご利用いただける地下室の貸館を行っています。
※料金や利用手続きについてはホームページをご覧ください。

	ご利用料金	
	1時間あたり	1日
講堂	500円	3,000円
地下室	300円	1,500円



◆アクセス

- 《電車(最寄「敦賀駅」から)》
- ・徒歩で25分
 - ・ぐるっと敦賀周遊バス「博物館通り」下車徒歩1分
 - ・コミュニティバス 松原線「山車会館」下車徒歩1分
 - ・「神楽町」下車徒歩5分
 - ・レンタサイクルで約15分
- 《車》
- ・敦賀インターチェンジから車で約7分

敦賀市立博物館

TSURUGA MUNICIPAL MUSEUM

〒914-0062 福井県敦賀市相生町7番8号

電話: 0770-25-7033 / FAX: 0770-47-6131

<https://tsuruga-municipal-museum.jp/>

ホームページ



X (旧 Twitter)

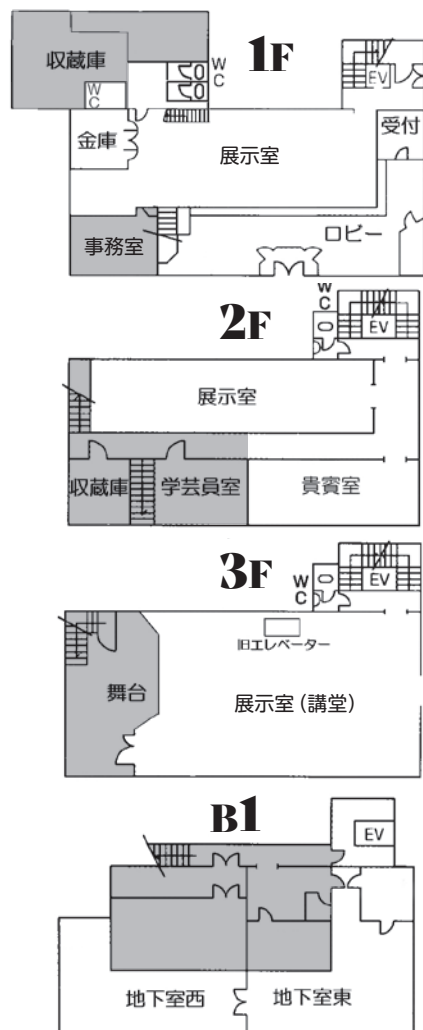


敦賀市立博物館



Tsuruga Municipal Museum

フロアマップ



収蔵資料

敦賀市立博物館では歴史資料、美術資料を中心に様々な資料を収蔵しています。

※当館には常設展示室はありません。時期によって資料を入れ替えて展示しております。(特別展示等の場合、この限りではありません)

歴史資料

みなとまち敦賀の歴史や、北前船、大谷吉継、『おくのほそ道』、水戸天狗党、鉄道など、日本の歴史を語る上でも重要な歴史トピックスに関連する資料を収蔵しています。



《越前国敦賀海陸図》



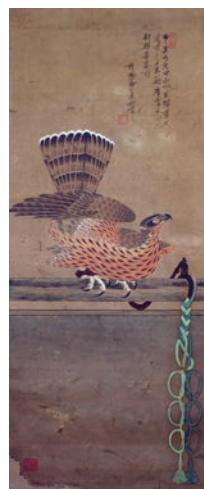
《武田耕雲斎ブロンズ像》

美術資料

敦賀市立博物館の特色の一つが貴重な美術資料の数々です。敦賀ゆかりの画家をはじめ、近世から近代の美術史を代表する画家たちの絵画作品を数多く収蔵しています。



円山応挙筆《狗子図》



初代 橋本長兵衛
《架鷹図》

二代目 大和田莊七



亀次郎くん

大和田銀行の創業者である二代目大和田 莊七は、1857年(安政4)に敦賀の薬屋の末っ子として生まれました(幼名・亀次郎)。亀次郎は幼少期、体が弱く、寺子屋にも通えませんでした。数学が得意で、将来は数学者になる夢を抱いていました。そんな亀次郎に転機が訪れたのは、1878年(明治11)のこと。初代大和田 莊七の長女万寿と結婚し、大和田家の婿養子になったのです。その9年後の1887年(明治20)には、正式に二代目 莊七を襲名しています。

1892年(明治25)、莊七は個人経営で大和田銀行を創業しました。大和田銀行はそれまで北陸の金利が比較的高利であったのに対し、大阪などの上方に近い低い金利で貸し出しを行い、客への対応も丁寧であったことから、“でっち銀行”と呼ばれ、順調に業績を伸ばしていきました。また、大和田 莊七は銀行だけでなく、敦賀の特産品であった縄や筵産業の発展に貢献したり、商工会議所の設立に尽力したりと、他にも多くの業績を残しています。

当館のキャラクターである亀次郎くんは大和田 莊七の幼少期をイメージしています。